

診療科目 ● 耳鼻咽喉科学

| 附属病院 | |
|--------------|--------------------------|
| 主任教授 | 折館 伸彦 |
| 准教授 | 田口 享秀 |
| 講師 | 西村 剛志、高橋 優宏、塩野 理 |
| 助教 | 佐野 大佑、矢吹 健一郎、荒井 康裕、高橋 秀聡 |
| 附属市民総合医療センター | |
| 講師 | 佐久間 康徳（耳鼻咽喉科部長）、小松 正規 |
| 助教 | 山下 ゆき子、柴田 邦彦、丹波 一友 |

本プログラムの特徴

耳鼻咽喉科学は頭蓋内と眼以外の頭頸部すべての器官が含まれる領域で、内科学、外科学、脳神経学、形成外科学さらにリハビリテーション学を伴う医療を扱う科である。聴覚・平衡覚・嗅覚・味覚といった感覚に加え音声・言語・嚥下といった生活するうえで重要な生理的機能が集中している領域である。本プログラムでは、まず全般の症例を見ることから始め、その後に専門性を高める。診察や手術を自ら経験し、その経験を通してよりの確に各自が必要な事項を学び、実践する。単に技術を指導するだけでなく、診療にあたっての基本的かつ科学的な考え方のトレーニングも行う。

目 標

- 本プログラムでは専門医を目指して
- ①耳鼻咽喉・頭頸部の構造と生理・機能を理解し、耳鼻咽喉科診察方法を習得する。
 - ②耳鼻咽喉科疾患の知識に精通し、的確な診断能力を習得する。
 - ③耳鼻咽喉科疾患の治療計画作成能力を習得する。
 - ④耳鼻咽喉科疾患の手術適応を決め、術前後に管理をし、手術手技を習得する。
- の4点を目標とする。

目標とする学会認定専門資格

| | |
|--------------|------------------------|
| 日本耳鼻咽喉科学会専門医 | 学会員3年以上、4年以上の耳鼻咽喉科臨床経験 |
| 日本気管食道科学会専門医 | 学会員5年以上、所定の単位取得 |

主な協力病院

神奈川県立がんセンター 神奈川県立こども医療センター 川崎協同病院 衣笠病院 横浜保土ヶ谷中央病院 茅ヶ崎市立病院 東京日立病院 西横浜国際病院 平塚共済病院 藤沢市民病院 横須賀共済病院 横須賀市立うわまち病院 横須賀市立市民病院 横浜栄共済病院 横浜市立みなと赤十字病院 横浜南共済病院

| 診療科のホームページ URL | 担当者・連絡先 |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------|
| http://www-user.yokohama-cu.ac.jp/~jibika/ | 塩野 理 oshiono@yokohama-cu.ac.jp |

診療科の実績

外来診療

外来診療では当科の特色である幅広い領域を扱うため専門性を重視し、頭頸部腫瘍、難聴、アレルギー・鼻副鼻腔、めまい、音声・嚥下、小児難聴、難聴遺伝カウンセリングという7つの専門外来を設けている。各専門外来では経験年数10年以上の専門医から研修医までが参加して診断および治療方針の決定を行っている。また耳鼻咽喉科スタッフは頸部超音波、超音波下穿刺吸引細胞診、下咽頭食道・嚥下造影を自ら行い、専門家ならではの高水準な医療の提供に努めている。がん診療連携拠点病院としてセカンドオピニオン外来も設置している。

入院診療

入院患者は6割以上が頭頸部悪性腫瘍患者であり、その他に耳疾患（中耳手術、人工内耳など）、鼻副鼻腔疾患、急性炎症疾患、神経疾患（突発性難聴、顔面神経麻痺など）など多岐にわたる。術式は耳科手術（鼓室形成術、人工内耳手術等）、鼻副鼻腔のナビゲーション下内視鏡手術、頭頸部腫瘍手術、喉頭微細手術、扁桃摘出術、気管切開術等、広範にわたり、附属病院、市民総合医療センターでそれぞれ年間500件前後の全身麻酔下の手術を行っている。

指導医から一言

耳鼻咽喉科・頭頸部外科はspecial surgeryであるが、専門領域に固執することなく耳鼻咽喉科全般の能力を高めることを目標として指導に取り組んでいる。後期研修期間終了1～2年後には専門医試験に合格することを前提に、その土台を築く期間と考える。日本耳鼻咽喉科学会専門医試験は年々難易度が増しており例年60～70%の合格率であるため、専門医取得には正確な知識のみならず積極的な臨床現場への参加が不可欠である。また学会発表、論文発表、研究など学術的経験も問われている。本プログラムには専門医取得に必要な研修内容に加え4種類の専門コースが設けられているため、興味のある各分野の造詣を深めることに役立ててほしい。

シニアレジデントからのメッセージ

横浜市立大学耳鼻咽喉科は耳鼻咽喉科領域の全ての疾患を対象としており、専門医取得を目標とした研修プログラムとしては十分である。また近隣の医療施設から珍しい疾患や緊急手術症例の紹介も多く、耳鼻咽喉科診療の全てを効率よく経験できる。さらに、大学病院という高い専門性を活かした専門コースは一般市中病院にないプログラムで、専門医取得後の自己の専門分野を選択するのに非常に参考になる。スタッフは全員専門医であるため指導環境も整っており、学会発表や論文発表を経験でき有意義な研修を行うことができる。